

報告事項 キ

八頭高等学校ホッケー場の人工芝張替について

八頭高等学校ホッケー場の人工芝張替について、別紙のとおり報告します。

令和7年8月4日

鳥取県教育委員会教育長 足 羽 英 樹

八頭高等学校ホッケー場の人工芝張替について

令和7年8月4日
体育保健課

全国高等学校総合体育大会（通称：インターハイ）が中国5県で開催されており、本県でも5競技6種目が実施されます。そのうち、ホッケー競技については八頭高校ホッケー場が会場となっており、大会開催に合わせてホッケー場の人工芝の張り替えを行いましたので報告します。

1 施工期間 令和6年10月25日から令和7年8月20日
(ただし、人工芝の張り替え作業は令和7年7月3日に完了し、7月4日に完了検査を実施)

2 施工場所 八頭高校ホッケー場（施工面積 6,489.60 m²）

3 特徴

- ・改修前のホッケー場はウォータータイプ（※）であったが、今後は新規格であるドライタイプ（※）が主流となることが見込まれている。一方、当面は国内の主要な大会もウォータータイプの会場で行われるため、両タイプでの使用が可能な公認規格を持つ人工芝の製品（ドイツ・ポリタン社製「Poligras Paris GT zero 11-43 MB EL10」）を採用した。
- ・同製品は2024年パリオリンピック会場で使用されており、インターハイで利用した後は国内唯一のドライタイプを用いた会場として、全日本合宿誘致交渉など本県のスポーツ振興施策への活用が見込める。
- ・同製品は製造過程において二酸化炭素などの温室効果ガスが排出される量が実質0以下として、100%カーボンニュートラルであることを第三者機関により証明され、更に、ウォータータイプとして利用した場合でも、標準散水量3L/m²に対し1L/m²以下に低減させるといった環境への配慮の取組でも公認取得された製品であり、本県の2050年脱炭素（二酸化炭素排出排出実施ゼロ）宣言の実現に寄与する。

（※）ウォータータイプ

フィールドに水を撒いて使用するタイプの人工芝である。これにより、ボールの滑りが良くなり、よりスピーディーでダイナミックなプレーが可能となる。また、摩擦によるやけどのリスクも軽減され、安全性の高い競技環境を提供できる。

（※）ドライタイプ

散水なしでプレー可能な人工芝である。水が少ない地域でも競技が可能で、環境に優しく、2024年パリオリンピック会場で使用された実績がある。今後はドライタイプが世界的に主流になる可能性がある。

4 公認取得の状況

- ・JHA グローバル規格（散水量 10/m²）は公認認定済
(ウォータータイプの公認)
- ・FIH イノベーション規格は公認申請中
(ドライタイプの公認)

